

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活排水対策推進啓発事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	04	01	04	03	01
政策	O2	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	浄化槽設置者	意図	浄化槽の適正管理により放流水の水質適正化を図ることにより河川及び湖沼の水質浄化を図る。
事業内容	浄化槽を使用する世帯を対象に放流水の水質調査を実施し、水質保全の啓発に努め、河川及び湖沼の水質浄化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	手賀沼流域を抱える流山市の独自の施策として平成6年度から浄化槽放流水の水質調査を実施している。造成時期が古い住宅に設置されている処理能力の低い単独処理浄化槽は概して検査結果が良くない傾向にある。また、最新の合併処理浄化槽であっても、保守点検等を怠っている場合は同様に結果が悪い傾向にある。平成28年4月から新たな生活排水対策推進計画が始まるため一層の推進を図る必要がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	啓発活動実施回数	1	1	1	回	→→	
②	浄化槽放流水水質基準達成率	76	89	63	%	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年6月に公表された污水適正処理構想では、これまでの公共下水道計画は市内全域を下水道整備区域としてきたが、それを見直し市街化区域は下水道整備区域とし市街化調整区域は一部を除き、浄化槽により汚水を処理する区域とした。そして下水道整備区域では平成36年度末までに下水道を整備することとされた。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,046,400	1,009,580	938,080				
事業費(b)(円)		355,400	256,580	251,580				
うち一般財源		355,400	256,580	251,580				
職員給与費(c)(円)		691,000	753,000	686,500				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組の課題	事務改善。
②今年度(H28)に実施した取組	事業の必要性や効率性について検証を行った。予算執行にあたっては経費の削減に努めた。	④今後の改善計画	事務改善による経費の見直し。